

・報告（3） 平成28年度の第1層生活支援コーディネーターの活動状況について
（くらしのサポーター・フォーラム関係を除く）

1 ネットワークの構築・ニーズの把握・課題の抽出

- ① 市内の町会，在宅福祉委員会，介護関係者，医療関係者，NPO等の会議・研修会・勉強会に延べ46回参加し，関係者とのネットワークを構築するとともに，意見交換・聞き取り調査・課題の抽出などを行った。

〔 ・深堀町会 ・弁天町会 ・陣川あさひ町会 ・町会連合会
・函館稜北病院 ・倫理法人会 ・函館認知症の人を支える会
・コミュニティハウスよしずみ ・ナルク函館はまなす など 〕

- ② 札幌市や旭川市等，市外で開催された研修会・勉強会に延べ23回参加し，関係者とのネットワークを構築するとともに，他都市での地域づくりの取組みについて学んだ。

〔 ・北海道高齢者保健福祉課 ・檜山振興局 ・苫小牧市 ・石狩市
・江差町 ・北海道社会福祉協議会 ・さわやか福祉財団 など 〕

2 普及啓発

1-①のうち9回については，研修会等の中で，『介護保険制度と函館市の現状』や『生活支援コーディネーターの役割』をテーマに講演し，地域での支え合いや介護予防についての普及啓発を行った。

3 第2層関連

- ① 2月1日，地域支援包括支援センターの職員を対象（50人参加）に『第2層生活支援コーディネーター研修会』を実施し，コーディネーターに期待される機能や役割，他都市の取組み事例などについての講義のほか，グループワークを行い，コーディネーター業務についての理解を深めた。
- ② 地域包括支援センターが開催した，第2層協議体（亀田・神山・社協）に参加し，センター職員とともに，生活支援コーディネーターの役割等を説明し，生活支援体制整備事業への理解を深めた。

4 その他（平成28年度から企画中のもの）

第1層生活支援コーディネーターが窓口となり，近隣に限らない町会役員同士の意見交換や勉強会などを，まちづくりセンター等で行うことで，地域を越えた町会同士の交流や地域活動の強化に結び付ける。